

八瀬川溪谷地帯観察会を行いました

7/7(月)に実施した溪谷地帯観察会(有志●●名参加)では、90分ほどかけて八瀬川の溪谷地帯約700mを歩きました。ここではその結果を紹介します。



①土がむき出しの斜面には、今にも ②水辺には竹が茂り、薄暗い。 ③まっすぐの溝があり、昔水車が設置されていたと思われる。



④国道129号の橋下は薄暗く、落書きやゴミが見られた。 ⑤水の流れは部分的に速く、膝と同じ水深の場所もあった。 ⑥溪谷地帯の下流側出口では、牧場の横を川が流れている。

お問い合わせ先

相模原市都市建設局土木部河川整備課(担当:山口)

〒229-8611 相模原市中央2-11-15

TEL:042-769-8273 FAX:042-769-5822

第2・3回八瀬川ワークショップ

6月15日(日)・7月26日(土)に開催しました!



1. 第2・3回ワークショップの目的

第1回ワークショップでは、八瀬川の良いところ、悪いところを話し合いました。第2回では、第1回で話したことを確認し、また共有するために、八瀬川の現地調査を行いました。さらに第3回では、第4回以降整備計画案を検討していく参考として、神奈川県内で多自然川づくりを実施している川を見学しました。

ワークショップのスケジュール

回	日程	内容
第1回 終了	5/31	H19年度基礎調査結果の報告 八瀬川の現況イメージの作成
第2回 終了	6/15	八瀬川現地調査 現況特性カルテの作成
第3回 終了	7/26	道保川等他河川見学 他河川カルテの作成
第4回 予定	9/7	整備方針の作成
第5回 予定	10月	整備計画案(グループ案)の作成
第6回 予定	11月	整備計画案を各グループ案から ワークショップ案へ集約
第7回 予定	1月	ワークショップ案の決定 河川活動案の決定

この冊子の内容

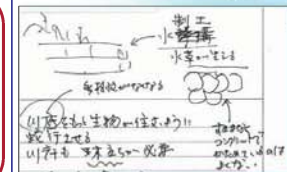
ワークショップの様子



気になるものをポラロイドカメラで撮影



川に関わる市民活動の掲示板を見ながら意見交換



川の構造物(水制工)をスケッチ



道保川を愛する会 会長さんのお話を聞く



道保川で行われていた流しそうめんのイベントに飛び入りで参加

2. 八瀬川現地調査（第2回WS）の報告

まずしおだせらぎ公園近くの八瀬川で生物調査の見学をした後、源流である大杉の池から相模川との合流地点まで、特徴の異なる場所をバスで巡りながら見学しました。ワークショップのメンバーは5つの班に分かれ、それぞれに現況をポラロイドカメラで写真に撮り、カルテに書き込みました。

第2回ワークショップの概要

日時と集合場所

6/15（日）13時～16時 しおだせらぎ公園

参加者

ワークショップメンバー：市民23名

主催者：相模原市河川整備課職員

解説：神奈川県水産技術センター内水面試験場 勝呂主任研究員

オブザーバー：麻布大学学生1名

スタッフ：コンサルタント（日本技術開発株式会社）

当日のスケジュール

- 13:00- | 現地調査及びカルテ作成の説明
- 13:10- | 生物調査見学
- 13:55- | 大杉の池（八瀬川源流）見学
- 14:20- | 田園地帯～住宅地帯見学
- 14:50- | 住宅地帯～渓谷地帯入口見学
- 15:10- | 渓谷地帯見学
- 15:40- | 崖線地帯～合流地帯見学
- 16:10- | 第3回ワークショップの連絡



▲ ワorkshopメンバーが作ったカルテ

大杉の池（八瀬川源流）

水が澄んでいてとてもきれい。

冬は水が少なく、澱んでいるらしい。



田園地帯～住宅地帯

ゴルフボールや空き缶などのゴミが気になる。

ザリガニやカワノナがたくさんいる。

両面コンクリート、雑草多い。



住宅地帯～渓谷地帯

生活排水が流れ込んでいる。

植え込みを刈ればもっと良い眺めになる。



渓谷地帯

昔使われていた水場がある。

湧き水もあり、水量が多い。

おまの滝や牛小屋の近くは残したい。



崖線地帯～合流地帯

川に下りるところが欲しい。

水生生物が多く生息している。



▲ 見学した場所とコメントの紹介（一部）

p.2～3に使用している全ての写真は、ワークショップメンバーがポラロイドカメラで撮影したものです。

3. 他河川見学（第3回WS）の報告

神奈川県内で多自然川づくりを実施している4河川を、バスで巡りながら見学しました。ワークショップのメンバーは4班に分かれ、それぞれ河川の現況を写真に撮り、カルテに書き込みました。

道保川では流しそめんのイベントを行っており、「道保川を愛する会」会長さんの貴重な話を聞くことができ、その後飛び入りでイベントに参加しました。



▲ 当日の見学ルート

道保川

川が蛇行し、良い景観。

植物が手入れされており、近隣地区の人たちの努力を感じる。



和泉川

子供の川遊びには理想的な川。

東山水辺愛護会の掲示板が良い。

川の環境を維持する市民活動が盛ん。

川原広く、落ち着いた住宅地の景観。



第3回ワークショップの概要

日時と集合場所

7/26（土）10時～17時 麻溝出張所

参加者

ワークショップメンバー：市民13名

主催者：相模原市河川整備課職員

オブザーバー：麻布大学岡本教授

スタッフ：コンサルタント（日本技術開発株式会社）

当日のスケジュール

- 10:00- | 見学会及びカルテ作成の説明
- 10:20- | 道保川見学
- 11:50- | 引地川見学（途中昼食休み）
- 12:50- | 和泉川見学
- 14:30- | いたち川（扇橋の水辺）見学
- 14:55- | いたち川（石原の水辺）見学
- 16:40- | 第4回ワークショップの連絡

引地川

公園と川を一体的に整備。

川岸の除草をした方がよい。

鯉以外の魚が少ない。



いたち川

八瀬川の渓谷地帯に似ている。

魚が遡上できるように水路が設置されている。



▲ 見学した場所とコメントの紹介（一部）